

# 樹木

大阪府の天然記念物（植物）概要



大阪府教育委員会  
大阪府伝統文化保護団体連絡会

表紙：大沢の杉(島本町)

裏表紙：春日神社のつばき(和泉市)

とびら：クロガネモチの実

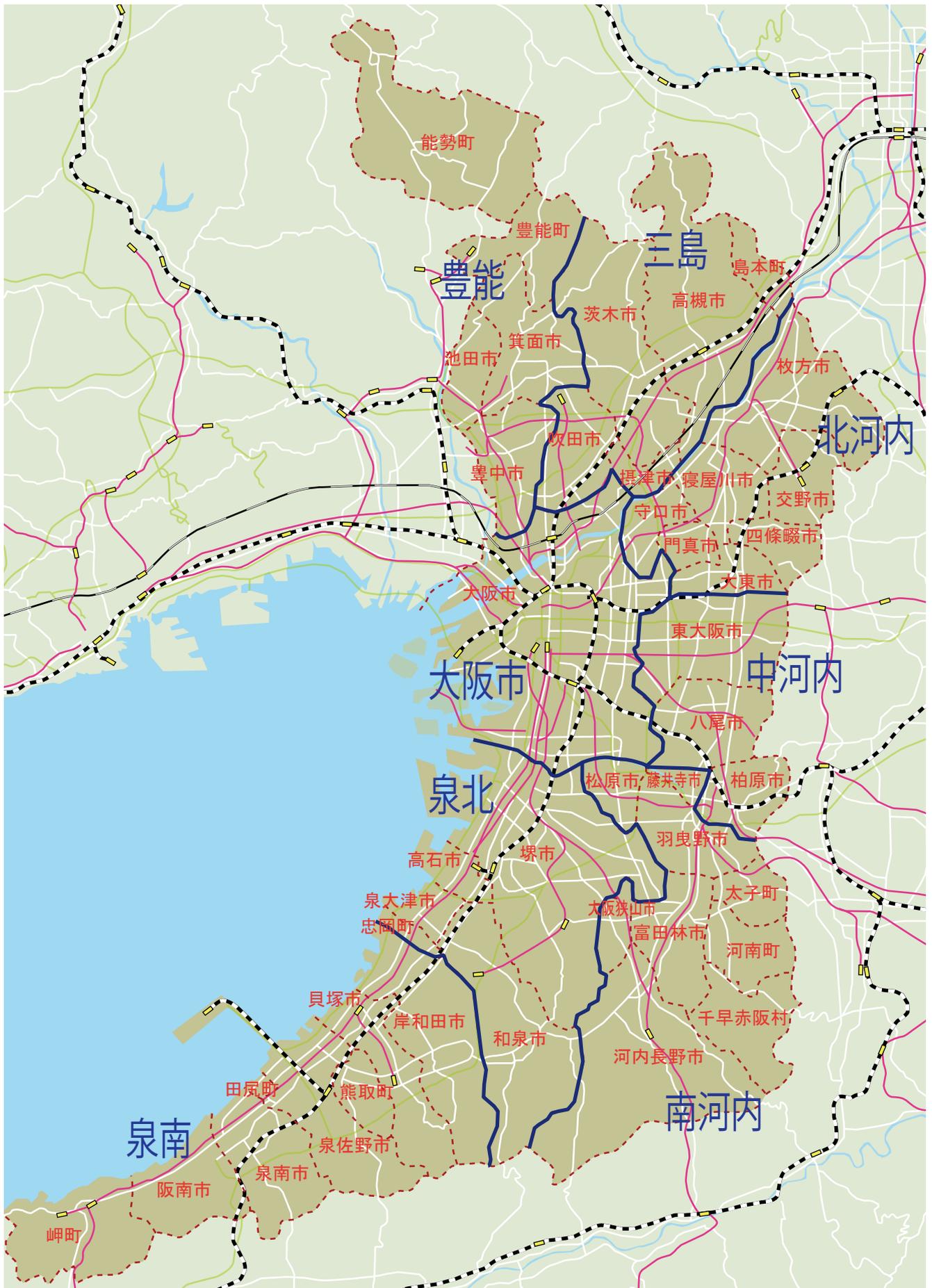
# 樹木

大阪府の天然記念物（植物）概要



大阪府教育委員会  
大阪府伝統文化保護団体連絡会

# 大阪府内 市町村位置図



# はじめに

この冊子は、文化庁の「文化遺産を生かした観光振興・地域活性化事業」の取り組みの一つとして、大阪府伝統文化保護団体連絡会が平成23年度に府内の国指定、府指定天然記念物（植物）を確認し、その概要をまとめたものです。

現在、大阪府内で国指定及び府指定の天然記念物となっている植物は、国指定4件、府指定78件の計82件に及びます。このうち実に81件が樹木であり、その多くが大阪府を代表する巨樹巨木あるいは大阪府の自然環境を示す貴重な植物群落として指定されています。また残る1件は草ですが、これは現在の栽培種が失った古い性質を現代に伝える希少種として指定されています。いずれも学術上貴重な植物であり、わが国あるいは大阪府の自然を記念するものとしてきわめて重要なものであると言えます。

しかし、忘れてはならないことは、所有者及び地域の人々が、長い年月にわたり畏敬をもって大切に守り育ててきたからこそ、これらの植物が天然記念物として指定され、保護されたということでしょう。早くより都市化の進んだ大阪府において、これほど多くの天然記念物が残っているのは、先人のたゆまぬ努力のおかげであり、人間社会と自然の調和を象徴するものとして、その価値は計り知れません。

今回の取り組みがきっかけとなって、より多くの方々に天然記念物への関心をお持ちいただき、ひいては文化財保護への思いを強めていただくことになれば幸いです。

なお、このたびの天然記念物の調査並びに本冊子作成にあたりましては、所有者のみなさまをはじめ、地元市町村教育委員会、諸先生方に大変お世話になりました。ここに厚く御礼を申し上げます。

平成24年3月

大阪府伝統文化保護団体連絡会会長

大阪府教育委員会事務局文化財保護課長 野口雅昭

# 目次

第1章 樹木の見方 .....	1
第2章 大阪府の天然記念物 .....	5
指定解除された樹木 .....	53
附 章 人と樹木～フランス人記者のレポート 樹は大切な友 .....	54
あとがき .....	57
大阪府内の天然記念物（樹木）分布地図 .....	59

## 【本誌執筆・編集】

第1章 地村邦夫（大阪府教育委員会文化財保護課）

第2章 井西貴子（大阪府教育委員会文化財保護課）

附章 矢部麗子（関西日仏学館 同志社大学講師 フランス語翻訳・通訳者）

編集 廣岡幸義（大阪府教育委員会文化財保護課）

## 【調査指導及び本誌作成指導】

岡田 博（大阪市立大学教授 大阪府文化財保護審議委員）

伊藤孝美（樹木医 森林生態研究者）

真田俊秀（樹木医 大阪府環境農林水産部北部農と緑の総合事務所）

伊藤文彦（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護室技師）

矢部麗子

廣瀬雅信（大阪府教育委員会文化財保護課）

## 【主たる参考資料】

北村四朗・岡本省吾『原色日本樹木図鑑』株式会社保育社 昭和34（1959）年

大阪府教育委員会『大阪府文化財図説 天然記念物・植物篇』昭和45（1970）年

濱野周泰監修『原寸図鑑 葉っぱでおぼえる樹木』柏書房株式会社 平成17（2005）年

林将之『樹皮ハンドブック』株式会社文一総合出版 平成18（2006）年

濱野周泰・石井英美監修『原寸図鑑 葉っぱでおぼえる樹木2』柏書房株式会社 平成19（2007）年

林将之『葉っぱで調べる身近な樹木図鑑』株式会社主婦の友社 平成20（2008）年

## 本書の見方

- 1 本書は大阪府内に所在する天然記念物（樹木）のうち国指定4件、府指定78件を紹介するものです。
- 2 各指定樹木は、樹種ごとに整理しました。掲載する順番は利便性を重視し、樹種の五十音順としました。
- 3 樹種名はカタカナで統一しました。
- 4 本書では樹木の大きな分類について、多くの人に馴染みのある広葉樹、針葉樹の分類を採用しました。

# 第1章 樹木の見方

## 1 樹木を知ろう

近所の公園や神社、お寺の境内に行くと、見上げるような大木や、美しい花が咲いた樹木に出会うことがあります。そうした時にふと「これは何の木かな？」と思うことはありませんか。

樹木には「広葉樹」と「針葉樹」の区別があることや、秋から冬になると葉が落ちる「落葉樹」と、一年を通して葉が付いたままの「常緑樹」があることをご存知の方が多いでしょう。ところが樹木の名前となると、よく見かける樹木であっても知らないことが多いものです。図鑑を開いても何を手がかりに調べたらいいのか、途方に迷うことが少なくありません。

そこで第1章では、樹木を見分ける手がかりとして、(1) 全体の形、(2) 高さ、(3) 木肌、(4) 葉、の四つのポイントを取りあげています。自分で樹木の名前がわかるようになると、樹木との出会いがもっと楽しくなりますよ。

## 2 見分けのポイント

### (1) 全体の形

少し離れたところから、樹木全体を眺めてみましょう。街路樹のようにひんぱんに剪定されると樹木の形は変わってしまいますが、自然に成長した樹木は、その種類によってある程度決まった形をしています。

この形を大きく分類すると、①円形、②楕円形、③卵形、④三角形、⑤逆三角形、⑥不整形（幹や枝が曲がり形が整っていないもの）に整理できます。

一般的に円形、楕円形、卵形のものは広葉樹に多い形であり、三角形は針葉樹に多い形です。また逆三角形のものはサルスベリやソテツなど、不整形は枝が垂れるシダレザクラやヤナギ、幹や枝が曲がったマツなどを例に挙げることができます。

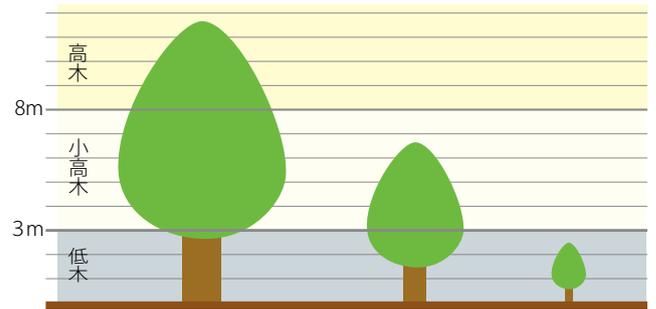
このほか特殊なものとして他の樹木などから伸びる「つる性樹木」もあります。4～5月に美しい花を咲かせるフジがよく知られています。



### (2) 高さ

樹木は年々成長します。成長の度合いは、生えている場所の環境や気候に左右されますが、樹種によって成長できる大きさはだいたい決まっていますから、樹木の名前を調べる際に、高さは手がかりのひとつになります。

樹木はその高さによって、大きく①高木、②小高木、③低木に分類されます。はっきり決まった基準はありませんので、ここでは8m以上を高木、3～8mを小高木、3m以下を低木としておきます。例を挙げると、高木にはアカガシ、クスノキ、ケヤキ、シイ、モチノキ、スギ、ヒノキ、マキ、カヤ、イチヨウなどがあります。小高木には、カクレミノ、ギンモクセイ、モミジなどが、低木にはツツジ、サツキなどがあります。



### (3) 木肌

樹木の木肌を見ると、なめらかなものから、ごつごつしたものであります。ここでは①なめらか、②横の筋が入るもの、③縦の筋が入るもの、④あみの目に筋が入るもの、⑤樹皮がはがれるもの、に分類します。



なめらかなものには、カクレミノ、クロガネモチ、ツバキなどがあります。横の筋が入るものには、ソメイヨシノなどのサクラ類やケヤキなどがあります。この横の筋は、皮目（ひもく）といって、通気孔のような組織が並んだものです。縦の筋が入る樹木はたくさんあります。浅い筋のようなものから、深い亀裂のようなものまで、さまざまです。針葉樹の多くも縦の筋が入りますが、広葉樹とはだいぶ印象が異なり、皮が細く裂けてささくれたようなものが多いのが特徴です。あみの目状に筋が入るものには、マツやカキ、ハナミズキなどがあります。樹皮がはがれるものには、部分的にはがれるケヤキやムク、ナギなどのほか、全体的にはがれるサルスベリなどがあります。

このように木肌は樹木を調べる手がかりになりますが、人間が年をとると皺が増えるように、樹木も成長するにつれて木肌の様子が変わることがあります。天然記念物に指定されているような巨樹巨木は、樹齢数百年に及ぶものから、同種の若木の樹皮と比べると大きく異なることがあるので注意が必要です。

#### (4) 葉

樹木の特徴を最も見分けやすいのが葉です。

ポイントとして、a 葉の付き方、b 葉の形、c 葉の縁の形、d 葉の色と厚さ、をとりあげます。

[広葉樹]

##### a 葉の付き方

①左右一枚ずつ交互に付くもの（互生）、②左右二枚一対に付くもの（対生）、③三枚以上が一ヶ所に付くもの（輪生）、④短い枝の先端に葉が束になって付くもの（束生）、の四種類があります。最も一般的なものは互生ですので、調べたい樹木が対生、輪生、束生であれば、候補をかなり絞ることができます。なお例として対生はカツラ、ギンモクセイ、モミジなど、輪生はキョウチクトウやヤマツツジなど、束生はイチョウなどがあります。



##### b 葉の形

まず葉の大きい分類として、①単葉と②複葉の2種類があります。

単葉は一枚の葉身からなるもので、いわば普通の葉です。切れ込みのあるものと、切れ込みのないものに大きく区別することができます。切れ込みのあるものでは、モミジやヤツデがよく知られています。またクワやおヒヨウの葉にも、特徴的な切れ込みがあります。

これに対して複葉とは、一見すると枝から伸びた何枚もの葉のように見えるもの（ひとつひとつを小葉といいます）が、実は全体で一枚の葉である、というものです。複葉には小葉が羽のように並んだもの（羽状）と、小葉が手のひらのように並ぶもの（掌状）があります。羽のようにならぶものにはサイカチやモクゲンジなどがあり、手のひらのように並ぶものにはトチノキなどがあります。

##### c 縁の形

単葉の葉の縁に注目すると、①鋸歯と呼ばれるぎざぎざがあるもの（鋸歯縁）と②ぎざぎざのないもの（全縁）、があります。鋸歯は、その大きさや形などから樹種を見分ける際の手がかりになります。

##### d 葉の色と厚さ

葉には、濃い緑色で分厚いものと、黄緑色で薄いものがあります。おおむね前者は常緑樹であり、後者は落葉樹であると区別できます。

[針葉樹]

針葉樹の葉は、細い針のようなもの（針状葉）と、魚の鱗（うろこ）が重なったようなもの（鱗状葉）があります。針状葉には、マツやマキ、カヤなどが、鱗状葉にはヒノキやジャクシンなどがあります。また特殊なものとして、ナギのように、一見広葉樹かと思いがう幅広の葉をもつものもあります。

#### 3 まとめ

樹木を覚えるには、屋外に出て、じっくり観察するのが一番です。四季の移ろいを感じながら、楽しんでいただきたいと思います。

なお、本章で紹介した樹木の見方をもとに、現在指定されている国、府指定天然記念物を一覧表にして4ページに掲載しています。実際に天然記念物指定樹木を見るときや、身近な公園樹木、街路樹などの観察の際の参考になれば幸いです。

広葉樹	単葉	切れ込みあり	 モミジ	 カクレミノ	 オヒョウ		
		切れ込みなし	鋸歯あり	 ケヤキ	 ブナ	 ギンモクセイ	 ツバキ
			鋸歯なし	 アカガシ	 クスノキ	 クロガネモチ	 ヤマモモ
	複葉	 トチノキ					
	針葉樹	針状	 クロマツ	 カヤ			
鱗状		 ヒノキ	 イブキ				
		その他	 イチョウ				
			 ソテツ				

葉の分類

# 天然記念物樹木の樹種別一覧

## 常緑広葉樹

樹種	樹木の形	樹樹の高さ	樹皮	葉の付き方	葉の形		
					単葉・複葉	切れ込み	鋸歯
アカガシ	円形	高木	剥がれ	互生	単葉	なし	なし
イスノキ	楕円形	高木	なめらか	互生	単葉	なし	なし
ウバメガシ	円形	小高木	縦筋	互生	単葉	なし	あり
カクレミノ	楕円形	小高木	なめらか	交互	単葉	あり	なし
ギンモクセイ	円形	小高木	なめらか	対生	単葉	なし	あり
クスノキ	円形	高木	縦筋	互生	単葉	なし	なし
クロガネモチ	楕円形	高木	なめらか	互生	単葉	なし	なし
サザンカ	円形	小高木	なめらか	互生	単葉	なし	あり
シイ(スダジイ)	円形	高木	縦筋	互生	単葉	なし	なし
シイ(ツブラジイ)	円形	高木	なめらか	互生	単葉	なし	なし
シリブカガシ	円形	高木	なめらか	互生	単葉	なし	なし
ツバキ	卵形	高木	なめらか	互生	単葉	なし	あり
ヤマモモ	円形	高木	なめらか	互生	単葉	なし	なし

## 落葉広葉樹

樹種	樹木の形	樹樹の高さ	樹皮	葉の付き方	葉の形		
					単葉・複葉	切れ込み	鋸歯
オヒョウ	円形	高木	縦筋	互生	単葉	あり	あり
カイドウ	不整形	小高木	なめらか	互生	単葉	なし	あり
カツラ	卵形	高木	縦筋	対生	単葉	なし	あり
クワ	円形	小高木	縦筋	互生	単葉	あり	あり
ケヤキ	円形	高木	なめらか→剥がれ	互生	単葉	なし	あり
サイカチ	円形	高木	なめらか(棘あり)	互生・束生	複葉	(羽状)	なし
サクラ(シダレザクラ)	不整形	高木	横筋→縦筋	互生	単葉	なし	あり
サクラ(ヒガンザクラ)	円形	高木	横筋→縦筋	互生	単葉	なし	あり
ツツジ(オオムラサキツツジ)	円形	低木	なめらか	互生	単葉	なし	なし
トチノキ	楕円形	高木	縦筋→剥がれ	対生	複葉	(掌状)	あり
ブナ	円形	高木	なめらか	互生	単葉	なし	なし
ムク	円形	高木	縦筋	互生	単葉	なし	あり
モクゲンジ	円形	高木	縦筋	互生	複葉	(羽状)	あり
モミジ	円形	小高木	縦筋	対生	単葉	あり	あり

## 針葉樹

樹種	樹木の形	樹樹の高さ	樹皮	葉の付き方	葉の形
イブキ(ジャクシン)	三角形	高木	縦筋	対生	鱗状
カヤ	三角形	高木	縦筋	互生	針状
スギ	三角形	高木	縦筋	互生	針状
ナギ	楕円形	高木	剥がれ	対生	※広葉樹のように幅広
マキ	不整形	高木	縦筋	互生	針状

## その他

樹種	樹木の形	樹樹の高さ	樹皮	葉の付き方	葉の形		
					単葉・複葉	切れ込み	鋸歯
イチョウ	三角形	高木	縦筋	束生	単葉	あり	なし
ソテツ	逆三角形	小高木	—	束生	複葉	なし	なし